

研究だより

令和6年10月18日

第10号

研究推進委員会

〇〇 〇〇

○第一時の様子【町内会・商店街の方に現状を話してもらおう】

【町内会・商店街の方の話】

商店街は約100店舗あるけれど、生鮮産品のお店がありません。

【町内会・商店街の方の話】

千鳥町は活気がなくて、どうしたら、活気が出るか一緒に考えてほしい。小学生の柔軟な考えを聞きたいです。

【町内会・商店街の方の話】

商店街では納涼祭や年末ジャンボやフリーマーケットなどを開催しています。



子供のオクリンクプラスの振り返りです。一人一人が千鳥町をもっと素敵な町になるように真剣に一生懸命考えています。

【町内会・商店街の方の話】

町会の活動に参加してくれる人がもう少し増えてくれるといいです。

よりよい地域にしていくために、何ができるか考えよう

第1回

10月9日(水)

今の千鳥町のイメージ

今の千鳥町は・・・

今の千鳥町のイメージは、町内会や商店街の方がいつも笑顔で優しいということ、お祭りやイベントなどにまちぐるみで取り組んでいるということです。8月に行われた夏祭りでは、多くの人が見に来て参加していたうえ、小学生の団体の人もたくさん来ていて盛り上がっていました。また、商店街にはスーパーマーケットとはまた違った良さがあり、私のお母さんも、地域の八百屋さんなどに行くと買い物がてらお店の人と楽しそうにおしゃべりしていました。でも、町内会の方たちなどを見ていると、若い人が少ないように感じました。わたしたちも将来千鳥町を担う存在となるはずなので、今回の学習を通してもっと千鳥町について知っていきたいです。

久保井さん・岩澤さんからの話を聞いて

お話を聞いて・・・

久保井さんと岩澤さんから話を聞いて、他人事だと思っていた人口減少に、千鳥町も直面しているうえ、地域のお店が活性化できない状況に直面していると知り、驚きました。人口が減ってしまうと千鳥町にとって様々な害があるので(施設やお店が荒れてしまったり、福祉が行き届かなかったりなど)、この状況をなんとか変えなくては行けないと強く思いました。また、私は千鳥町のことをけっこう知っていると思っていたけれど、商栄会のことや、生鮮産品のお店を作ろうとしても作れず、困っていることなどを知り、まだまだ自分たちの住む千鳥町のことをよく知らなければいけない、と痛感しました。そして、千鳥町や地域のお店のために、一生懸命活動してくれる町内会や商栄会の方たちのすごさが改めてわかりました。仕事の合間を縫って私達のために千鳥小まで来てくださった、久保井さんと岩澤さんに感謝し、私達が自分にできることをすることで千鳥町の力になりたい、と思いました。

ふりかえり

分かったこと・もっと知りたいこと・友達から学んだこと・やってみたいこと

今回の学習で、久保井さんと岩澤さんから話を聞いて、私にはさらに深掘りしてみたいと思うことが2つあります。一つは、岩澤さんのお話の中にあった、「千鳥町は水が豊富である」ということです。私は大田区自体が水が豊富であることは、六郷用水などの勉強をしたために知っていましたが、まさか千鳥町から清水が湧き出ていることがあるなど聞いたこともなかったので、千鳥町の活性化につながるかもしれないと、強く興味を持ちました。もう一つは、商栄会が行っていたフリーマーケットについてです。私はスーパーと商店街の違いは、一つの施設に安いものが集まっているかどうかだと思っていました。なので、お店で売れ残った商品や事業所の品物の一部などを月に一、二回ほどみんなで持ち寄って、商栄会に入っているお店のどこかに集めて安く販売する企画はどうかと考えています。そう簡単に物事は進まないかもしれませんが、フリーマーケットについて、誰か商栄会や町内会の方にお話を聞いたり、調べてみたい、と思っています。

子供たちは教科「おおたの未来づくり」だけではなく、他教科でもオクリンクプラスを活用しているので入力もスムーズに行えます。先生方も6年1組のオクリンクプラスを見ると、これまでの学習の流れが見られるようになってきているのでぜひご覧ください。



自分たちで考えたことを地域の人達に見てもらいたいね。

町の現状を知るためにはインタビューしてみたいね。



6-1の計画ピラミッド

第二時では学習計画を立てました。学習のゴールである最終的な提案をするためにどのように学習を進めていくか、こどもたちの言葉でまとめていきました。提案を地域の方にみてもらうための準備でどのような考えが出てくるか楽しみです。

○第三時の様子【インタビューの計画を立てよう】



整理整頓術！！

この学習のゴールは町の方に自分達の考えを提案すること、そしてそれを実現させていく。それをするために自分たちに必要なことは町をもっと知るために、いろいろな方からお話を聞いて、インタビューをしに行くことだね。

インタビューの流れ

1. あいさつ
2. 自己紹介
3. お礼
4. 目的説明
5. インタビュー 感想、質問
6. お礼



ポイント

目的を明確に伝えよう

自分の考えも伝えよう

相手の回答を予想しよう

礼儀に気を付けよう

インタビューをして働いている方の目線で予想される答えを考えてみよう。



小売店にあまりお客さんがこないんじゃないかな？

千鳥町の人口が増えてにぎやかな町になってもらいたい。

研究だより

令和6年10月28日

第11号

研究推進委員会

〇〇 〇〇

○前時の授業の様子

千鳥町の現状 課題を考えよう

こどもから出たヒント

インタビューしたこと(地域のお店、お家の人)

久保井さん・岩澤さんの話

自分の考えと合わせて

自分の目で見え

今日の授業では千鳥町の現状や課題を考えたいけれど何かヒントになりそうなことは何かかな？

映えスポットがほしい。

みんなにとって理想の千鳥町はどんな町になってほしい？

お店が増えてほしい。

休みの日に集まれる、遊べる場所があるといい。

若い人も高齢者の人も楽しめる。

元気があってにぎやかな町になってほしい。

ほかの地域からも来るような町になってほしい。

日常的に使える店があって元気のある町になってほしい。

でもみんなにできることは限られるよね。みんなができることはどんなことかな？

話し合いを通して友達から学んだことを学びメモに書いてみよう。自分の考えを整理しながらメモを書いてみよう。

追及タイムの後は学びタイム！！

自分たちで町内会・商店街を盛り上げるために、自分たちの力でできることは何かを考えました。最初は理想を考え、そこから現状、課題を考えました。現状では、昼間に人が少ないことや、カフェがないとか、自然が少ないがわかりました。課題としては若い人の働き手が足りない、観光資源が少ない、盛り上げにくい。だからこそ若い人向けの何かが必要。

→本時では自分たちができる解決策を考えていきましょう。

